

# Focus Vol.56

長洲町でキラリ輝く人たち

まえだ のぶひさ  
前田 信久さん  
(69歳 高田)

演歌歌手の作詞家としてメジャーデビュー



## 人の“出逢い” と大切に—

「ひとつ夢が叶いました」と嬉しそうに話すのは高田区在住の前田信久さん。昨年5月に発売された演歌歌手林蔵之介の「愚痴酒場」に詩をつけ、69歳で作詞家としてメジャーデビューした。

これまで趣味として作詞や作曲をしていた前田さんだが、熊本在住の作曲家の知人の紹介で東京のレコード会社にスカウトされ、作詞家デビューすることとなった。前田さんは「普通、素人がメジャーデビューはできるものではない。いろんな縁があって出せたと思います」と人との出逢いに感謝している。

### やつてみないと始まらない

「まずはやつてみること。なにかを始めるに遅いも早いもないと思います」と話す前田さん。60歳を過ぎたころ、若いころからの趣味だった音楽を再開した。作詞作曲を始めたほか、地域の皆さんのが楽しめるようにと自宅敷地内の一画にカラオケハウスを建築し、地域の高齢者に歌のレッスンを行っている。最近では、近所の高齢者が仲良く交流できる場として、高田区や鷺巣区などの各区に月一回のペースで場所の提供を行うなどの活動を行っている。

「地域の皆さんのが楽しんでいるのを見られてうれしい。今後は行政区別ではなく、合同でも集まるるようにしてみたい」と話す前田さん。

### キラリ輝く人 を探しています

長洲町で頑張っている人または世界・全国で活躍する長洲町出身の人を広報ながすで紹介します。詳しくはお問い合わせください。

まちづくり課 企画調整係  
(78) 3239

高田区の松尾英介区長は「声を出すことは老化防止にも良い。区民が仲良くなれる場所のひとつとして多くの人が参加できるように広げていくことで、交流が活発になつていければうれしいですね」と期待を寄せている。



広がりつつある区民の交流(高田区)